

授業日 11月28日(火) 5・6時間目

学習目標

「探究活動のまとめ【3】」

日本の国防、世界の安全保障について、高い問題意識を持ち続ける
… ピーススタディに1年半取り組んだ学習者として…

授業内容

- ◇ 北方領土(4島)を全て挙げるができるか(位置も含めて)確認する
択捉(えとろふ)島・国後(くなしり)島・色丹(しこたん)島・歯舞(はぼまい)群島
「日本はロシアより早く北方四島(択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島)の存在を知り、多くの日本人がこの地域に渡航するとともに、徐々にこれらの島々の統治を確立しました。1855年、日本とロシアとの間で全く平和的、友好的な形で調印された日魯通好条約(下田条約)は、当時自然に成立していた択捉島とウルップ島との間の国境をそのまま確認するものでした。それ以降も、北方四島が外国の領土となったことはありません。(外務省HP)」
- ◇ 在日米軍の日本における配置図で、在日米軍基地の位置を確認する
(安保廃棄中央実行委員会HP)
- ◇ 日本における北方領土と共通要素のあるアラスカについて学習する
「アラスカ〔州〕」(『ブリタニカ国際大百科事典』)
北アメリカの北西端にあるアメリカ合衆国最大の州。州都はジュノー。北は北極海、西はベーリング海、南は太平洋に面し、東はカナダのユーコン准州とブリティッシュコロンビア州に接している。南部はアラスカ山脈が走り、その中部にあるデナリ(マッキンレー山。6190m)は北アメリカ大陸の最高峰である。1741年にビトゥス・J.ベーリングが探検、1784年にロシア人が入植した。1867年にアメリカがロシアから買収し、1912年に准州、1959年に第49番目の州となった。
※ 地政学的に軍事上重要なアラスカをなぜロシアが手放したのかななどを議論した
- ◇ 単に人権尊重という姿勢だけでは解決しない、複雑な民族問題としてクルド問題について議論した
「クルド人問題」(『ブリタニカ国際大百科事典』)
イラン、イラク、トルコ、シリア、旧ソ連の国境山岳地帯、いわゆるクルディスタン地方に住むクルド人の民族的処遇をめぐる問題。約1500万人以上と推定されるクルド人は独自の言語、文化をもつ民族で、オスマン帝国解体後独立国家の樹立を求めたが認められず、上記各国に居住地を分断され、いずれの国においても少数民族と化した。
- ◇ 同様になかなかNATOに加盟できないスウェーデンの事情について考察した

評価方法

- ◇ ピーススタディを終えてから、いかに高い問題意識を持ち続けることができるかが、探究に踏み入れた学習者の矜持であるとアナウンスした